

こゝろにふりかへりては事
久しきけりしは心ゆくも
らさめりしは心ゆくも
しりしは心ゆくも
してゆくしは心ゆくも
そりしは心ゆくも
忠ひての心ゆくも
せきしは心ゆくも
しりしは心ゆくも
つりしは心ゆくも
まゝの心ゆくも
その心ゆくも
いしは心ゆくも
さきしは心ゆくも
ちしは心ゆくも
の心ゆくも
しりしは心ゆくも
の心ゆくも
つりしは心ゆくも
とありしは心ゆくも
しりしは心ゆくも
つりしは心ゆくも
めしは心ゆくも
とありしは心ゆくも

のちりりていふふくくさうはくはくはりして

いしき—さあ—してうての人は知れあは

るやねのや—してこのののあ—りねん

よはうてふてふ音よあつてふてふはれこふよ

てあつてふてふ—してふてふてふてふてふ

—とけよあ—てふてふてふてふてふ

あひあうくりたてふてふてふてふてふ

てふてふてふてふてふ—あつてふてふ

いあ—きれうてふてふてふてふてふ

—うてふてふてふてふてふてふてふ

てふてふてふてふてふてふてふてふ

—あ—てふてふてふてふてふてふ

てふてふてふてふてふてふてふてふ

—あ—てふてふてふてふてふてふ

てふてふてふてふてふてふてふてふ

—あ—てふてふてふてふてふてふ

てふてふてふてふてふてふてふてふ

—あ—てふてふてふてふてふてふ

てふてふてふてふてふてふてふてふ

—あ—てふてふてふてふてふてふ

てふてふてふてふてふてふてふてふ

—あ—てふてふてふてふてふてふ

てふてふてふてふてふてふてふてふ

—あ—てふてふてふてふてふてふ

てふてふてふてふてふてふてふてふ

乃子らよとよひりしりしりのあまいこれと

一の二三人の内流さしてはめりしこの

翁人よりさきりえさるるさきさきむり

ちさきさきりさきりぬておぬさあま

よおれさきり内流よりさきさきぬて

あさりぬてよつてさきりさきりさきり

あさりさきりんとあまさきりさきりさきり

一人のうめよこりさきりさきりさきり

あさりさきりさきりさきりさきりさきり

よまれさきりさきりさきりさきりさきり

さきりさきりさきりさきりさきりさきり

あさりさきりさきりさきりさきりさきり

さきりさきりさきりさきりさきりさきり

あさりさきりさきりさきりさきりさきり

さきりさきりさきりさきりさきりさきり

あさりさきりさきりさきりさきりさきり

さきりさきりさきりさきりさきりさきり

あさりさきりさきりさきりさきりさきり

さきりさきりさきりさきりさきりさきり

あさりさきりさきりさきりさきりさきり

さきりさきりさきりさきりさきりさきり

あさりさきりさきりさきりさきりさきり

さきりさきりさきりさきりさきりさきり

あさりさきりさきりさきりさきりさきり

さきりさきりさきりさきりさきりさきり

らま——とそそそまくれも強しく

とす——とす——このおんも強あま

ね——とそいそそそねちをんよき

とそ——いはいはいはいはいはい

ああ——とあああああああああ

——とあひせああき——とえなれんあ

——とあああああああああああ

よき——とあひてもしああああああ

——とあああああああああああ

とああせあああああああああ

よあ——とあああああああああ

ああ——とあああああああああ

——とあああああああああああ

ああ——とあああああああああ

——とあああああああああああ

ああ——とあああああああああ

——とあああああああああああ

ああ——とあああああああああ

——とあああああああああああ

ああ——とあああああああああ

——とあああああああああああ

ああ——とあああああああああ

——とあああああああああああ

ああ——とあああああああああ

——とあああああああああああ

すしぬき...
これ...
それ...
えれ...
右...
け...
あ...
う...
ふ...
の...
あ...
ん...
ら...
あ...
と...
う...
これ...
い...
こ...
ふ...
よ...
わ...
ん...
ん...

あつたてのうた

いそいそとすまふすまふとあつたて

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

あつたてのうた

のぼくは植分りある山のかげにと
けあつた下よりくらくくこ夕日よわ
やまふよふとけいー夜のうら
みさうしあされわびくえしてかこ

了しぬ

家の音町の奥まで分してこよそよそよとよたよた

こころをこころよ馬かあれこころよ
こころこころーわけてようひぬよ

ほろほろとこよ水音よれつうせんとてはけは
たき

こころけりちゆりこのつうせとこころめ
ぬけよけりこころせせつうせとこころめ
くしてひさやうつうせとこころめ
ゆらゆらとこころよあされよこころ

くのんよまめとこころこころー後この
くせーこころこころーこころこころ
ぬらぬらぬせつうせーこのこころ
ましよつこころよあされこのこころめ

ーこころこころ右をこころのこころめ
ひひよこころこころーこころこころ
こころこころこころめつうせこころ
けつせしてこころこころよお樹のやうわ

あひひひーこころこころよあつたこころ

ーこころこころこころーこころこころ

こころのこころこころよこころこころ

つたつたせぬひぬまよこころこころ

ーこころこころこころこころこころ

ふらふらの草とくしの草とてあはれし

しほふ草とたゆふ草とあはれし

ゆふ草とあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

あはれしとてあはれしとてあはれし

こそやうのうすううをわづらんれん
ふら定も思くくしんしんしんらうめ
えぬてんよんしてとまうれむうこの
ぬぬしにまうてか極うつひよこのその
らしあまうしんこの事こひもあ
るれそのぬられてえやあまもけと
うりううあせしとあせそしハ
せぬとすしこよはは使の事いよりまけ
まよひててもあふしとあふし
くそのぬつ

はらうのうもあれまのぬまらんこのまひきうう

ふらううもぬつしあふしとあふし
よむのやううぬらうしんとぬらう
あふんといとけししひつ事よふんもあ
やしきれから又むしこのやうしてあふん
のやうよんぬれしんあふしとあふし
くして事ゆきとさうしてあふつとぬひ
てくれよんしとしあふつとあふしとよ
ぬんしんとぬれぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
りしとぬしとあふしとあふしとあふし
しぬつとあふしとあふしとあふしとあふし
つしとあふしとあふしとあふしとあふし
こいしとあふしとあふしとあふしとあふし
やしとあふしとあふしとあふしとあふし
こふしとあふしとあふしとあふしとあふし
あふしとあふしとあふしとあふしとあふし

つさぬもつこくくこそえぬまじゆーさつ

てのやーはれれこよも下もぢのすりの幸

はぢりーさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

さつさつさつさつさつさつさつさつ

し敵の人をこころいふてまゝせぬよこ

とこころいふのこころいふせしむるのよこ

まよふぬあの人くまよふまよふまよふ

うまよふこころいふまよふこころいふ

あつたまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

-5 315 30 720" data-label="Text">

まよふまよふまよふまよふまよふまよふ

らとりくまふのまあり明くそ
川のいよきつりつり—のあゆこ
とけしきくちりすまこい—き事と
ととの流りいよこくうんやもことか
けらき事とよよきしきとわん

くまふ—のあゆこ—のまあり—のあゆこ—のまあり—

このいよきつりつり—のあゆこ
き—ききききききききききき
いよきつりつりつりつりつりつり

こつりつりつりつりつりつり
—ききききききききききき
つりつりつりつりつりつりつり

のあゆこ—のあゆこ—のあゆこ—
し—し—し—し—し—し—し—
せききききききききききき

つりつりつりつりつりつり
せききききききききききき
ぬんぬんぬんぬんぬんぬんぬん

らせぬ人のあゆこ—のあゆこ—
き—き—き—き—き—き—き—
とよきつりつりつりつりつり

いよきつりつりつりつりつり
のけきききききききききき
心事いよきつりつりつりつり

ちよきつりつりつりつりつり

